

ESGパフォーマンス:

パフォーマンスを実証し、事業価値を訴求



Safety. Science. Transformation.™

相互の結びつきがますます強まる一方、前向きな変化と不確実性が共存する世界において、ステークホルダーは企業の活動や環境、人々、そして、それらを取り巻く世界への影響について、真の可視化を求めています。過去10年間、特に直近の5年間に於いて関心が高まっているESG（環境、社会、ガバナンス）に関する情報開示は、企業が財務報告以外のパフォーマンスを共有し、環境、人々、およびコミュニティへの影響と貢献に関連する機会や投資リスクをより適切に評価するための重要な手段となっています。

投資家、政府、従業員、消費者などのさらに多くのステークホルダーが、定期的な年次財務報告制度に加えて、サステナビリティ、社会的責任、およびリスクに関するデータを幅広く開示することを企業に要求しています。企業は、Sustainability Accounting Standards Board（SASB：サステナビリティ会計基準審議会）やTask force on Climate related Financial Disclosures（TCFD：気候関連財務情報開示タスクフォース）などの有名なフレームワークに基づく報告を行い、長期的な存続に影響を与える可能性がある重要な非財務情報を公開します。事業に潜在的なリスクをもたらす可能性がある例として、以下が考えられます。

- 消費者の健康問題を引き起こす製品に関する訴訟
- 異常気象によって重要物資の配送が遮断されることにより生じる事業継続の混乱
- 雇用や人材登用における不公平な制度による優秀な人材の流出

絶え間なく変化する相互接続された世界では、あらゆる種類のビジネスに新たな責任と脆弱性をもたらします。ESG報告書は、企業の真のリスク、影響、および可能性を可視化し、非財務分野の重要なパフォーマンス属性を明らかにします。

本白書の目的



建材や家具製造業者固有のESG報告書における重要な構成要素を明らかにする



ESGに関する情報開示を成功に導く要件について検討する



製品のサステナビリティに関する積極的な管理がESG戦略にどのように貢献するか理解する



プロセスを促進するためのリソースを特定する

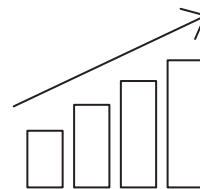
ESGに関する情報開示を通じて、ステークホルダーの信頼を獲得し、自社の事業を可視化し、より深く理解するための方策を講じることができます。

© 2022 UL LLC. All rights reserved. This document may not be copied without written permission from UL Solutions and only in its entirety. The document is for general information purposes only and is not intended to convey legal or other professional advice. The information provided in this document is correct to the best of our knowledge, information and belief at the date of its publication.

ESG報告書は先進的な企業にとって必須条件です

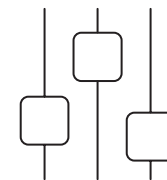
ESGデータを活用したファンドの
運用資産総額が大幅に増加

22.9 兆米ドル 2016年
から
40 兆米ドル超 2020年¹



60%
の企業が

ESGに関する情報開示強化を目的とし
た予算の増額を検討²



Ernst & Youngの機関投資家（バイサイド）

約**300**名の上級意思決定者
を対象に行った調査によると



98%
が

企業情報開示における非財務分野の
パフォーマンスを評価³

ESG パフォーマンス基準

ESG報告書では、財務との関連性が明確な非財務指標を選定します。評価指標として、健康と安全に関するポリシー、リソースの効率的な利用、消費者や採用候補者に訴求するポリシーやサプライチェーンの多様性などが挙げられます。最終的にこれらの決定は、企業の事業維持、ビジネスの継続性確保、および、市場における長期的な存続に向けた自社の地位の確立に影響を与えます。

ESG報告書は、幅広いパフォーマンス領域をカバーし、ビジネスへの影響に関するより包括的なプロフィールを提供します。ESG報告書でカバーされる主なパフォーマンス分野について紹介します。



Environmental（環境）

- 気候変動、温室効果ガスの排出
- 空気質、水質
- 生物多様性
- 森林破壊
- エネルギー効率
- 持続可能な資材管理



Social（社会）

- データ保護とプライバシー
- ジェンダーと多様性
- 従業員の関与
- コミュニティとの関係性
- 人権
- 労働法規
- 顧客満足



Governance（ガバナンス）

- 取締役会の構成
- 監査委員会の構造
- ESGパフォーマンスに連動した役員報酬
- 贈収賄関連施策
- ロビー活動と政治献金

ステークホルダーはサステナビリティの情報開示を推進し、投資家は ESG に関する情報開示を推進します

多くのステークホルダーが企業のサステナビリティ・パフォーマンス全体に対する関心を強める一方、最大規模の機関投資家の多くは、財務結果に直結する一連の ESG の課題に関心を寄せています。それぞれのエコシステムおよび財務パフォーマンス指標に対する需要の高まりにも目を向ける必要があります。



投資家

ますます多くの投資家が ESG の報告を要求しています。報告を怠る、またはパフォーマンスが不振の企業には、売却のリスクがあります。

調査対象となった91%の機関投資家が、「非財務パフォーマンスは、投資の意思決定において極めて重要な役割を果たしている」と述べています。iv



購入者/小売業者

調達ガイドラインで要求されることが増えていることから、バイヤーや小売業者は、サステナビリティやESG報告書を開示して透明性を提供するサプライヤーから購入するようになってきています。

2017年のわずか46%に対し、2020年、小売業者の65%が報告書で二酸化炭素削減目標を掲げています。v



規制要件

連邦、および地方レベルで、ますます多くの行政機関が、サステナビリティまたはESGに関する報告を義務付ける法規制化を進めています。

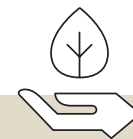
64カ国に約600のサステナビリティの報告手段があり、その半数以上が義務化されています。



運用パフォーマンス

主要な非財務パフォーマンス指標を評価するプロセスはしばしば、運用効率向上の機会やコスト削減、さらには、新しいビジネスモデルの特定につながります。

ESGの評価は、原材料や水、二酸化炭素排出に関する実際のコストを特定し、事業経費の増大に対処する上で役立ちます。それはまた、最大で60%の営業利益に影響を及ぼす可能性があります。vi



NGO

非政府組織（NGO）はサステナビリティに関する認識を広めることに取り組んでおり、それは間接的に消費者やその他のステークホルダーが、企業にサステナビリティまたはESGに関する情報開示を採用するよう求める動きに繋がっています。

NGOは、ビジネス、メディア、政府などの他の機関と比較して、より倫理面を重んじるものと認識されていますvii。



消費者の選択

消費者は、購入を通じて、より優れたサステナビリティ・パフォーマンスを達成する企業を指示する意向とロイヤリティを示しています。

世界的な調査によれば、消費者の77%が、ブランド（企業）にとってサステナビリティや環境に対する責任が重要であると考えています.viii

ESGに関する情報開示はビジネスに大きなメリットをもたらします

ESG報告に対する財務および環境面での推進力の有無にかかわらず、過去数年間にわたり報告を続けている企業は大きな利益を上げています。ESG報告は企業の長期的な成功に不可欠な洞察力と効率性をもたらします。

ESG報告がビジネス上利益をもたらすことに同意する企業^{ix}

52%

運用面での効率改善が廃棄物やコストの削減につながったと回答した企業

52%

企業の評判やブランドイメージの向上につながったと回答した企業

49%

リスク管理や長期的なリスクのモニタリングの改善につながったと回答した企業

ESG報告書の開示に必要なデューデリジェンスと、それによって得られるビジネスの可視化について考えてみましょう。

メリット	家具/建材分野の情報開示例	説明
 リスク低減	製品に含有される懸念化学物質の管理プロセスを開示	懸念化学物質の使用を特定して削減し、製品が人の健康に害を及ぼすリスク、ひいては法的措置を講じる可能性を軽減します
 コスト削減	総エネルギー消費量と使用された再生可能エネルギーの割合のモニタリングと報告	エネルギーの使用状況を綿密に追跡することで、企業はエネルギーの浪費、使用削減、つまりコスト削減の機会についての洞察を得ることができます
 可視性の向上/ビジネス運営上の洞察	製品に使用する材料の効率性と埋め立てごみの転用に関する監視と報告	廃棄物ゼロの製造を目指す設計を行うことで、コストとリスクを低減します
 ブランドの信頼	VOC 排出量および含有基準を満たす適格製品の割合を開示	安全な屋内環境と人々の健康をサポートする製品をより多く提供することで、ブランドの信頼を獲得します
 環境パフォーマンスの改善	ライフサイクル全体を通じて、製品に関連する二酸化炭素排出量を評価	購買者にアピールする、環境負荷を低減した製品を開発し提供する機会を特定します
 資本コストの削減	より強固な情報開示、およびより良いESGパフォーマンスにより、MSCIのような評価機関の高い評価につながる可能性	概して、ESGスコアの高い企業はESGスコアが低い企業と比べ資本コストが低い傾向にあります。先進国と途上国ともに、これは市場価値と収益性の高さとも相関していますx

信頼の獲得が難しい時代において、ESG報告は透明性を通じて信頼性の向上をもたらします。

関心の高まりと取り組み

サステナビリティへの関心が高まるにつれ、主要なNGO、団体、企業は、環境パフォーマンスに関する有意義な洞察をもたらす方法に関する調査を開始しました。サステナビリティ会計基準審議会（SASB）やグローバル・レポーティング・イニシアティブ（GRI）などの機関が公平なパフォーマンスの比較を可能にするデータ提示に関する最良の方法を示し、企業を導いています。また、国連の持続可能な開発目標（SDGs）は、政府や企業のESG戦略に組み込むべき大胆な目標を提示しています。カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト（CDP）などの格付けプログラムは、特定の情報開示領域（炭素、林業、水）に焦点を当てており、これらはESG分析に組み込まれています。多くのESG関連の調査・格付け会社は、各社が影響力のある領域で、緊急に対応したいというリーダーの熱意から発足しました。その一例として、Sustainalytics、S&P Global、CDP、Bloombergなどが挙げられます。現在、協調に向けた取り組みが進められています。



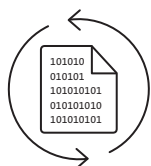
SASB 基準

72 兆ドル（USD）の運用資産に相当する推定 228 社の機関投資家が、SASBを支持し、投資の意思決定にSASB基準を使用して情報を提供しています。x SASB基準は、ビジネスモデル、関連資料、および特定のサステナビリティに関連する課題に基づき、業界ごとに固有の会計指標を規定しており、これは企業にとって非常に価値のあるものです。例えば、製品の品質と安全性は、鉱業会社よりも、販売する製品が消費者に害を及ぼさないよう配慮する必要がある小売業者にとって、より重要であることが証明されています。同様に、鉱業会社は金融サービス会社よりも従業員の安全プロトコルに力点を置いている可能性があります。ビジネスの種類や内在するリスクを考慮し、SASBは11セクター、77業種において、財務パフォーマンスと密接に関連する固有のサステナビリティ基準を特定および規定しています。SASBの [Materiality Map](#)[®] は、業種ごとに異なる基準を規定しています。

ESG情報開示を始める

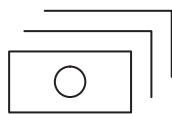


ESGを取り巻く環境は複雑に思えるかもしれませんが、いくつかの基礎知識があれば、企業は合理的にESGに関する情報開示を進めることができます。その結果、サステナビリティの向上と、より確実なビジネスパフォーマンスを包括的に実現することができます。ESG報告を開始し貢献していくにあたって、自社の成功のために必要な基本的な項目について検討します。



データのデジタル化

投資家は、ESGのパフォーマンスと財務上の成果の間に関連性があると考えており、ESGの指標を開示するよう企業に求めています。従ってビジネスリーダーは、財務データと同様にESGデータを扱うことが推奨されます - 社内の複数の機能別組織から集めた表計算データの収集、並べ替え、および整理に費やす時間を短縮し、戦略的な分析により多くの時間を費やすことができるようにデジタルテクノロジーを配備します。



インセンティブの調整

企業の考え方が純粋な財務面の成果主義から全体的なリスク、機会、および影響を見極める方向へと変化するにつれて、リーダーや従業員がESG報告を推進することが不可欠です。優れた収益性やより高い売上を達成することのみを追及する行動を奨励するのではなく、大企業では既に導入されていますが、ESGの成果を役員報酬プランに組み込むといった手法の採用が進められています。



社内の協力

サステナビリティを達成するには、チームとしての努力が必要です。ソリューション提供の一部を部門横断的な協力のもと、人事、財務、調達、サプライチェーン、IR、製品開発、ファシリティ、EHS、法務部門など、組織に所属する全員が担う必要があります。



第三者の評価

投資家と顧客は、信頼できる意思決定を可能にするデータを求めています。第三者機関の評価は、信頼のおける独立した評価を提供し、ESG報告書で提供される情報に対する信頼も高めます。

組織全体としていかにESG報告策定に貢献していくか

ESG報告書では、データを取得してパフォーマンスを評価するために、組織全体の共同作業が必要です。そのためには組織全体の主要なパフォーマンス領域を正確に反映することが必要です。

戦略と報告	サステナビリティのリスク（異常気象発生に伴う混乱）と機会（二酸化炭素排出量の削減）を評価します。
ガバナンス	環境および社会的パフォーマンスの目標実現を支援するため、会社のガバナンスを強化します。検討項目は以下の通り： ・ ボーナスはESG関連業績を推奨する構造になっているか ・ 取締役会はESG分野の成果に対して経営陣に説明責任を求めているか ・ 会社のポリシーとして、男女間の賃金格差、多様性と包括性、責任ある調達、内部告発などの社会問題に対応しているか
運営	システムとプロセスを導入して、組織全体のあらゆるレベルで活動を実行できるようにします。検討項目は以下の通り： ・ サプライチェーン全体でデータ収集を可能にするシステムが整備されているか ・ 会社および第三者のサステナビリティ・パフォーマンスを評価するためにデータを収集しているか ・ サステナビリティ目標を全社的に推進および伝達しており、コンプライアンスを要求しているか ・ 業務全体のパフォーマンスと基準の遵守を定期的に評価しているか
製品と販売	・ 製品/サービスがサステナビリティの目標とコミットメントに沿っているか判断します。検討項目は以下の通り： ・ 設計、製造、および流通において、環境および人の健康への負荷を軽減した製品を提供しているか ・ 企業は、サステナビリティの実績を客観的に証明するための第三者認証を取得しようとしているか ・ 会社の販売およびマーケティングは、誠実かつ透明性をもっておこなわれており、米国連邦取引委員会（FTC）および同様の保護規定やベストプラクティスに従っているか

ESG戦略における製品の役割

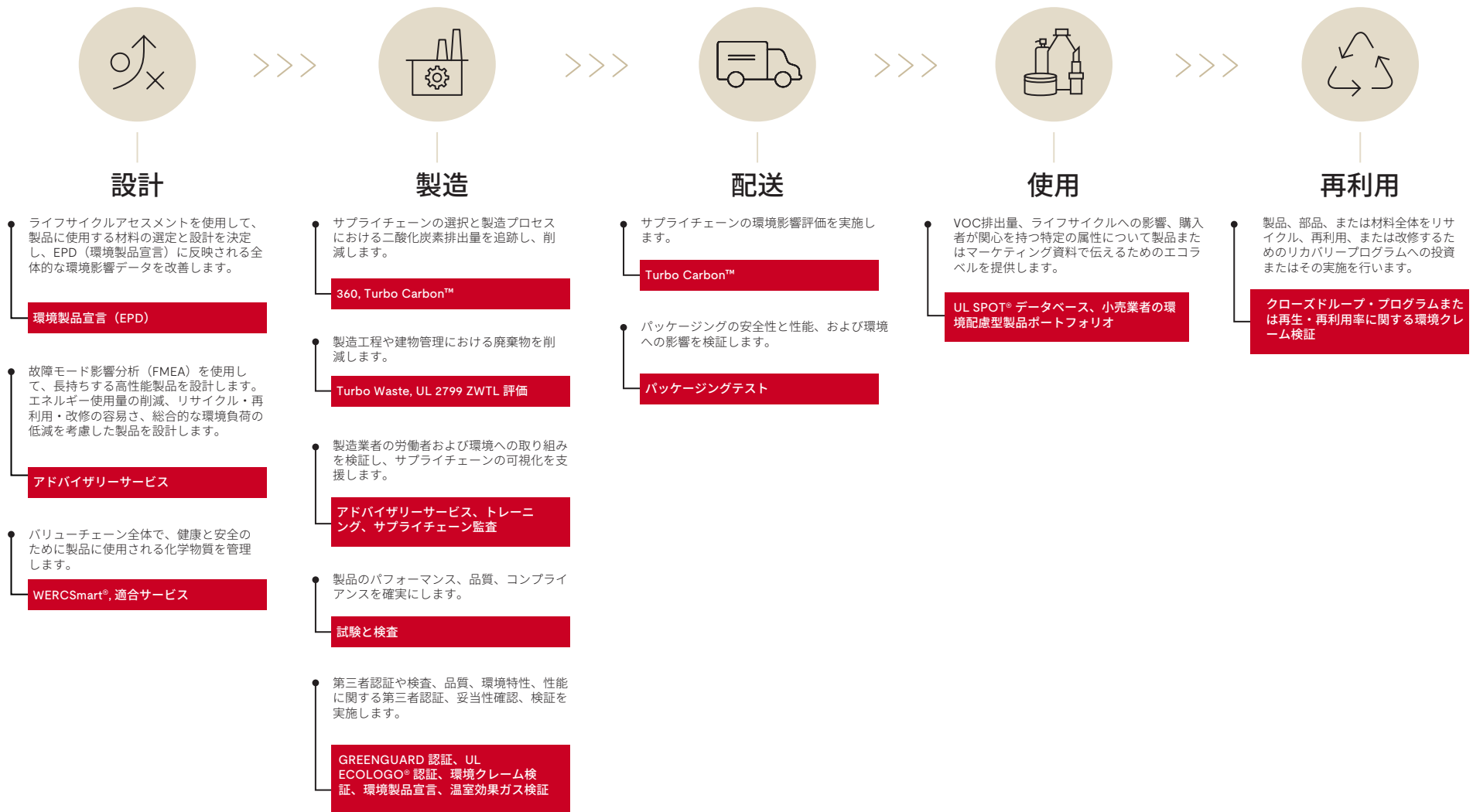
製品のサステナビリティに焦点を当てることで、建材や家具のメーカーは、バリューチェーン全体の脱炭素化を目指すことができ、二酸化炭素と水の排出量を大幅に削減できます。運用上の炭素削減（スコープ1および2排出量）だけでなく、スコープ3排出量の削減を通じて、炭素削減の取り組みを拡大することにより、企業は世界の温室効果ガス排出量の削減により包括的な視点で取り組むことができます。

製品ライフサイクルのさまざまな段階でメーカーがサステナビリティへの取り組みを実施する機会と、UL Solutionsがどのように支援を提供できるかについて確認していきます。



UL Solutions の支援

ESG報告戦略を進めるにあたり、サステナビリティ目標に取り組むための斬新なアプローチの設計やサプライチェーンの透明性を向上させるためのアドバイザリーサービス、さらに、自信を持ってサステナビリティの成果を開示するために必要な信頼に足る科学的根拠に基づく試験と認証を通じて、お客様をサポートします。UL SolutionsはESGに関するプロセスのあらゆる段階で幅広いソリューションを提供し、お客様をサポートします。



終わりに

不確実性、偽造情報、根拠のない主張が横行し、信頼が損なわれている現代において、検証済みのESG データは、企業、製品とサービス、およびエコシステムにおける信頼の基盤の再構築に役立ちます。投資家を惹きつけるために ESG報告の可能性を模索している場合でも、すでに実施している主要な ESGイニシアチブに項目を追加する場合でも、私たちは科学的根拠に基づくソリューションと専門知識でお客様をサポートします。これらの非財務的な重要業績評価指標（KPI）を管理し、報告することで、ビジネスの可視性を高め、変化し続ける世界で企業が成功するためのパフォーマンスを報告に組み込むための支援を提供します。

-
- i. [Opimas, "ESG Data Integration by Asset Mangers: Targeting Alpha, Fiduciary Duty & Portfolio Risk Analysis," June 17, 2020.](#)
 - ii. [EY, "How will ESG performance shape your future?" July 2020.](#)
 - iii. [Harvard Law School Forum on Corporate Governance, "Survey Analysis: ESG Investing Pre- and Post-Pandemic," October 20, 2020.](#)
 - iv. [EY, "EY Climate Change and Sustainability Services Survey," July 2020.](#)
 - v. [CapGemini, "How Sustainability is fundamentally changing consumer preferences," 2020.](#)
 - vi. [<https://www.mckinsey.com/business-functions/strategy-and-corporate-finance/our-insights/five-ways-that-esg-creates-value>](#)
 - vii. [Edelman, "Edelman Trust Barometer 2020," 2020.](#)
 - viii. [IBM and the National Retail Federation, "Meet the 2020 consumers driving change," June 2020.](#)
 - ix. [KPMG, "ESG: A view from the top," 2018.](#)
 - x. [MSCI Research, "ESG and the cost of capital," February 25, 2020.](#)
 - xi. [SASB, "Global Use of SASB Standards," December 19, 2019.](#)





UL.com/Solutions

© 2022 UL LLC. All rights reserved.